



〒801-8550

北九州市門司区清滝1丁目3番1号

代表 電話 093 - 321 - 0984
FAX 093 - 331 - 7085

公益社団法人日本海員掖済会

門司掖済会病院

女性下部 尿路症状について



はら りつこ

泌尿器科部長 原 律子

骨盤内の構造は、女性と男性では大きく違います。それに伴い女性下部尿路(膀胱尿道)症状も男性とは違ったトラブルも生じてきます。40才以上の女性の約半数が頻尿等の何らかの下部尿路症状を有しているといわれています。

女性の骨盤及び下部尿路構造は図のようになっており、その構造や妊娠出産、ホルモン環境の変化により、頻尿や尿失禁などの蓄尿症状が多く生じるのは容易に想像されますが、同時に排尿困難等の排尿症状や排尿後症状も無視できません。日本では、世界で初めて2013年に【女性下部尿路症状診療ガイドライン】が発行されました。女性の蓄尿・排尿症状への診療指針と普及を目的とし、2019年には改訂版も発行されています。しかし、排尿症状を主訴に医療機関を受診する女性は男性に比して低く、泌尿器科を受診する女性はその4割弱ともいわれています。排尿は日々の生活に大きく関係し、その障害は生活の質を低下させる一因にもなりえます。一般的に知れ渡るようになってきた過活動膀胱も、治療薬はここ数年で数多く発売され、難治性の症例には、ボツリヌス毒素の膀胱内注入療法や、仙骨神経刺激療法が保険適応となっています。また、腹圧性尿失禁には尿道スリング手術が短期入院でも施行可能です。排尿症状・排尿後症状にも尿道狭窄や骨盤臓器脱等の原因除去で改善可能な場合もあります。

女性下部尿路症状にて悩んでいる方々が気軽に排尿症状を相談し、治療を受けられるようになることを期待しています。

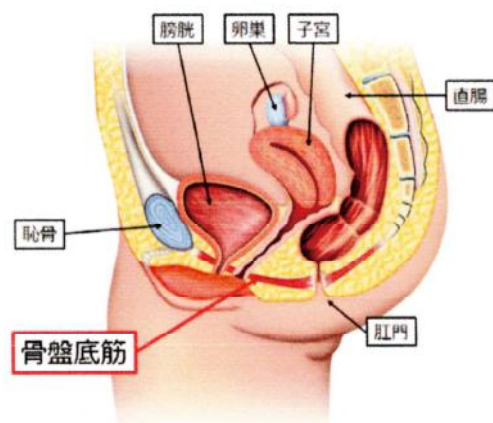


図 女性骨盤内構造





のぐちせいけいげかいいん

野口整形外科医院

地域医療

連携紹介

院長 野口 碩雄 先生

〒801-0862

北九州市門司区錦町10番10号

電話 (093) 331-7600

午前：8:30～12:15 午後：14:00～17:30

休診：日曜日・祝日

(午後休診：木曜日・土曜日)

昭和59年に開業以来、最寄りで身近な総合病院として門司掖済会病院とは病診連携を続けさせていただいています。

当院は、骨筋肉関節はじめ運動器疾患の整形外科ですので、内科、外科はじめ耳鼻咽喉科、婦人科、口腔外科、糖尿病などの合併症疾患の患者さんの治療や情報提供には感謝しています。

また、骨関節損傷のMRI検査の急なお願い等も快く引き受けてもらっています。微妙な骨折線の診断など大助かりです。

掖済会の先生や職員の方々とは病院外でも連携があります。各科の医師会関係の研修会、合同カンファランスもその一つです。門司港SWIM & RUNの救護協力、木原郁夫先生は選手で参加中です。門司みなと祭りでの総踊りやパレード等々、今年は新型コロナショックでほとんどが中止になりました。自粛、3密禁止など異例の日々が続いています。一日も早い収束を願い、元気にみなと祭りでも連携しましょう。これからも急患、精査などで迷惑をかけることと思います。よろしくお願ひします。



昨年のみなと祭りパレード

当院の新型コロナウイルス感染対策への取り組み

Q掖済会ではどのような感染防止対策をしていますか？

- 出入口は一カ所としています。
- 入館時には体温測定と手指消毒を行っています。
- 全スタッフのマスク着用を義務化しています。
- 来院者、入院患者さまにはマスクの着用をお願いしています。
- 全病棟面会禁止としています。

Qコロナに感染するのが怖いので病院に行くのをためらいます。どうすればよいですか？

当院では、感染対策に取り組んでいますが、来院を控えたい患者さまには、電話による受診やお薬の処方ができる場合がありますので各外来受付にご相談ください。ただし、検査等が必要で来院をお願いすることがございます。

Qコロナと思われる症状(発熱や咳、味覚障害等)が出たらどうしたらよいですか？

直接医療機関を受診することは避け、専用ダイヤルにご相談ください。
北九州市新型コロナウイルス専用ダイヤル
093-522-8745 (24時間受付)

患者様、関係者の皆様のご協力のもと、職員一同全力で取り組んでおります。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

